

平成30年2月16日（金）

# 廃棄物処理業界のあるべき姿

平成29年度 東日本Bブロック  
リーダー 村武 宏紀

## 1. はじめに

### 東日本Bブロック ワークショップ実施内容

平成29年8月1日	第1回	テーマについて協議
平成29年9月12日	第2回	講義（林 孝昌様） テーマについて協議
平成29年12月13日	第3回	講義（原田 幸明様） 発表内容について協議

## 1. はじめに

### 講義内容①

日時 : 平成29年9月12日

テーマ : 「産業廃棄物処理業の振興方策に関する提言」を踏まえて

講師 : 一般社団法人 資源循環ネットワーク 代表理事 林 孝昌 様



- ☞ 産業廃棄物処理業の現状
- ☞ 産業廃棄物処理業の今後に影響を与える主要動向
- ☞ 課題解決に向けた事業戦略

## 1. はじめに

### 講義内容②

日時 : 平成29年12月13日

テーマ : 「広域マルチ・バリュー循環を目指して

～ものづくりからアジア発循環経済への挑戦～」

講師 : 一般社団法人 サステナビリティ技術設計機構

代表理事 原田 幸明 様



- ☞ 金属資源の将来的需要量とリサイクルの大切さ
- ☞ 欧州のCircular Economyの考え方
- ☞ 日本が持っている力を発揮させるしくみ

## 1. はじめに

### ワークショップ参加者の声

今後の事業展開に向けて、課題を把握したい

経営者・幹部社員の“理解”

ここから

具体的な会社の方針や戦略をどう練っていくべきか…

## 1. はじめに

### 会社の中では…



経営者

将来性あるのかな、この業界

この仕事、ずっと続けられるのかな？

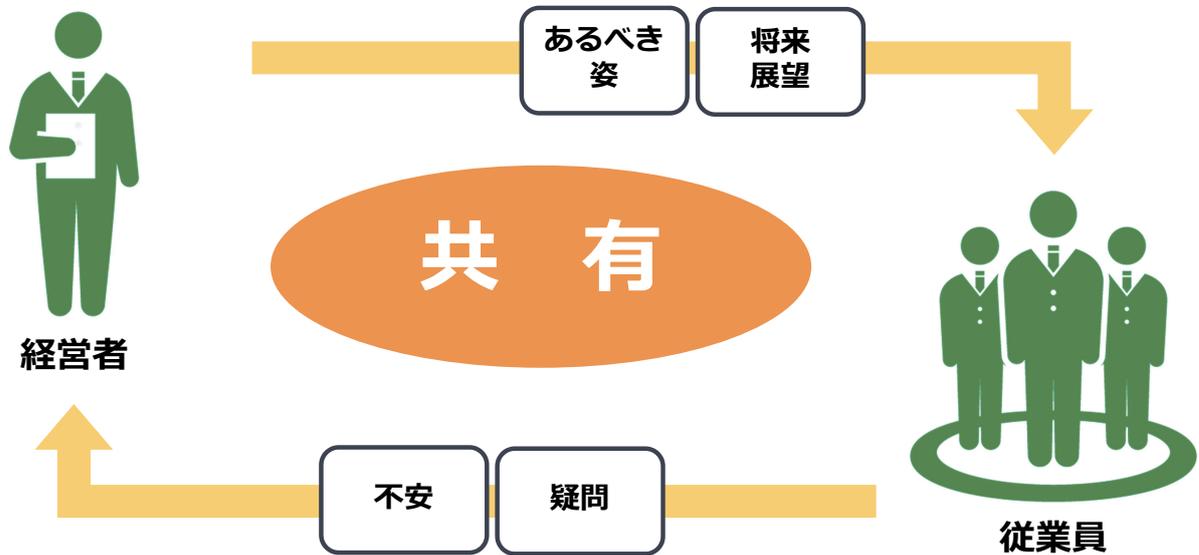
不安

とりあえず今働ければ…

従業員

## 1. はじめに

伝える・共有することが大切！！



## 2. 研修例

株式会社東日本Bブロック  
将来のあるべき姿

社内研修（例）

# 株式会社東日本Bブロック 将来のあるべき姿

平成30年2月16日(金)

## 1. 産業廃棄物処理業の今後に営業を与える主要動向

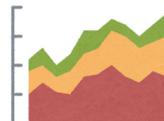
### ①人口減少

- ・1995年をピークに、生産年齢人口(15~64歳)は減少を始めている
- ※2015年:7,700万人⇒2020年:7,300万人
- ・2030年には6,800万人に減少(約12%減)すると推計されている



### ②ストック型社会への転換

- ・「固定資産の有効活用」「所有意識の低下」「需要減少」に伴い、耐久消費財等の新規販売量が減少しつつある
- ・新車販売台数、新設住宅着工は1990年に比べ半減している

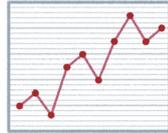


廃棄物発生量の減少をもたらす可能性が高い

## 1. 産業廃棄物処理業の今後に営業を与える主要動向

### ③環境制約

- ・国内における最終エネルギー消費量の削減  
※2013年:3億6100万kl⇒2030年:3億2600万kl
- ・総発電電力量の占める再生可能エネルギーの割合を、2030年度には22~24%まで上昇させる



### ④資源制約

- ・世界の人口増加、経済成長に伴い、資源需要や廃棄物発生量が増加する見込み
- ・廃棄物発生量 2010年:約104.7億トン  
⇒2025年:約148.7億トン
- ・国際資源循環の重要度も増している



廃棄物の収集運搬・処分におけるエネルギー削減が必要

## 1. 産業廃棄物処理業の今後に営業を与える主要動向

### ⑤持続可能な開発目標(SDGs)

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS  
世界を変えるための17の目標



- ・2015年に国連総会で採決
- ・「持続可能な生産消費形態」の確保や、保健、教育、格差拡大等の社会的課題の解決に向けた目標が掲げられている

- ・廃棄物処理企業に求められる要件  
**【廃棄物の発生防止・再生利用及び再利用による廃棄物発生量の大幅な削減】**  
**【国際的労働基準の遵守・尊重】**

廃棄物処理企業の「社会的責任」が重要視される

## 1. 産業廃棄物処理業の今後に営業を与える主要動向(まとめ)



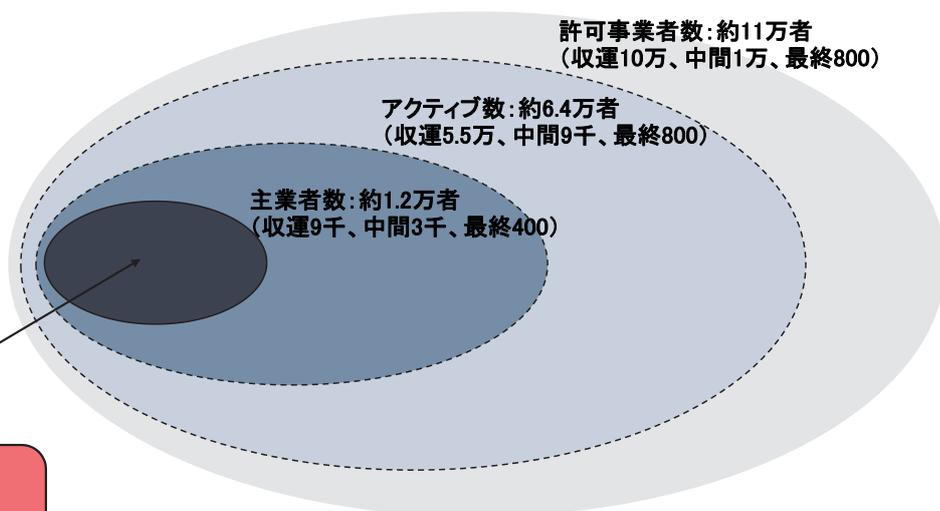
- 廃棄物の発生は減少する＝競争が激しくなる
- 労働力不足に対応するため、生産性の向上が必要
- 社会に“選ばれる”会社になる

## 2. 産業廃棄物処理業の現状

### ①事業者数

- ・許可を持っている事業者は約11万者だが、アクティブな事業者数は全体の6割程度
- ・産業廃棄物処理を主業とする事業者数は約1.2万者(全体の1割程度)
- ・優良認定は約1千者

優良認定:約1千者  
(収運359、中間737、最終94)

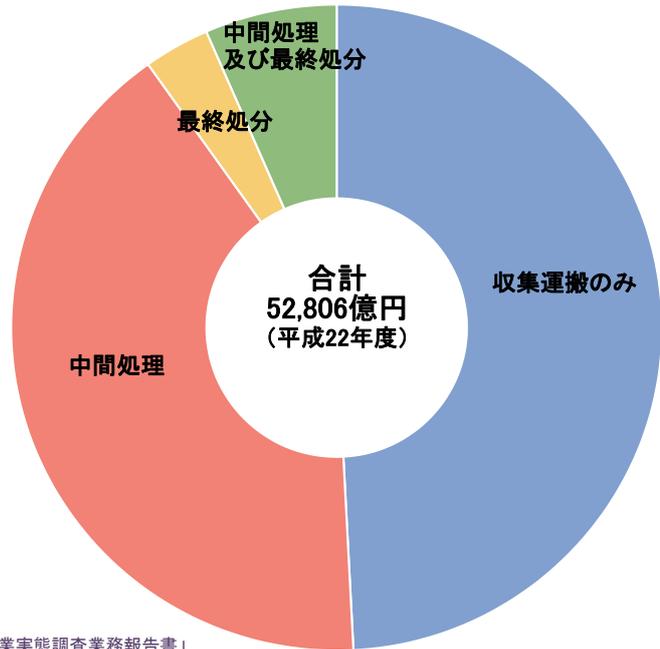


出典:(許可事業者数)環境省・産業廃棄物処理業者情報検索システム(平成29年1月19日)  
(アクティブ数、主業者数)みずほ情報総研による推計  
(優良認定)産業廃棄物処理業振興財団提供

## 2. 産業廃棄物処理業の現状

### ②市場規模

- ・国内における産業廃棄物処理業界全体の推定市場規模は約5.2兆円
- ・日本のGDP(500兆円)の約1%



出典:環境省「平成23年度産業廃棄物処理業実態調査業務報告書」

## 2. 産業廃棄物処理業の現状

### ③個別企業等による取り組みの動向

#### 事業基盤の強化・拡大

- ・トレーサビリティシステム導入による排出事業者への安全・安心の提供
- ・株式市場への上場

事業基盤の強化・拡大を通じた競争力強化を図る取り組み

#### 企業連携・M&A

- ・トータルソリューション提供を見据えた営業部門の統合
- ・新規営業エリアにおける施設と許可の同時獲得を目的としたM&A

業界内における自社の位置付け確保を目指す取り組み

#### マーケット拡大

- ・海外における廃プラスチックセメント燃料化事業への参入
- ・廃棄物処理施設の建設におけるPFI事業／運送管理におけるDBO事業等への参入

将来的な廃棄物量減少に伴う市場縮小等を見据えてマーケット拡大を目指す取り組み

#### 地域との共生

- ・焼却時エネルギーを活用したハウス栽培等農業分野への参入
- ・非常時の災害廃棄物処理支援に資する事業者連携体制の整備

地域からの評価を高めつつ、迷惑施設との認識を脱却するための取り組み

#### 人材育成・確保

- ・民間企業による優良事業者評価、育成及びネットワーク化の推進
- ・経営層向けのビジネス研修への参画

企業の発展の前提条件となる人材確保・育成を図るための取り組み

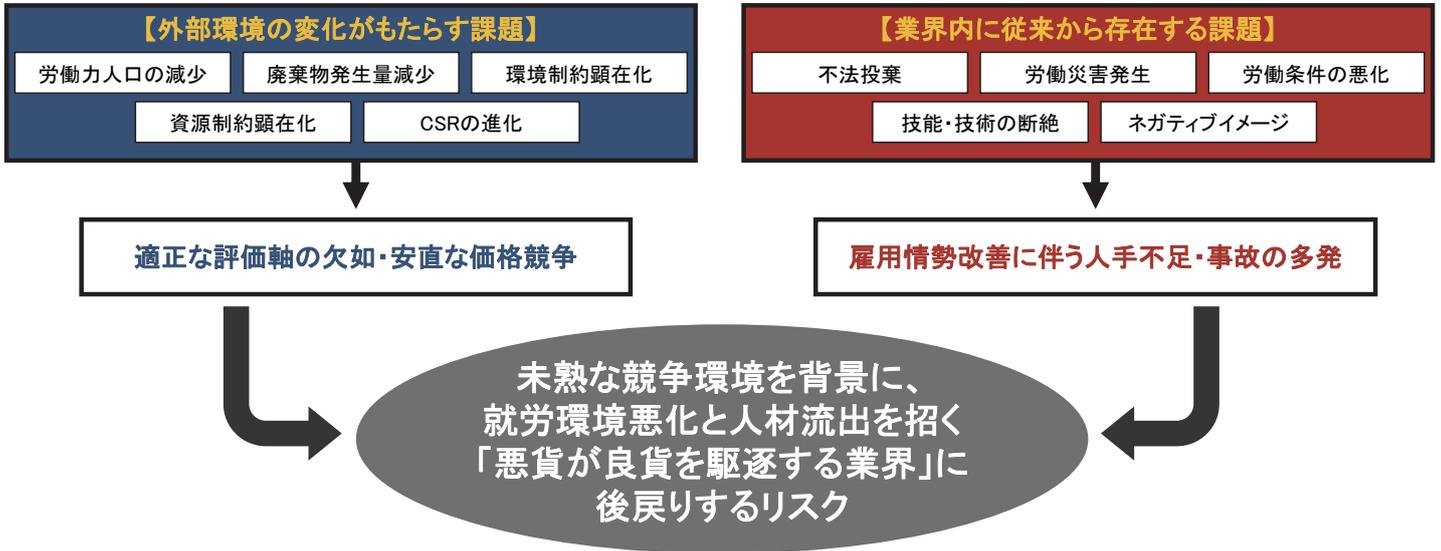
#### CSR活動

- ・CSR調達ガイドラインの作成
- ・人権に配慮した企業活動に係る研修会
- ・女性、障害者、シニア社員等のダイバーシティ雇用の拡充

身近な取り組みを通じて業界全体のイメージ向上を図るための取り組み

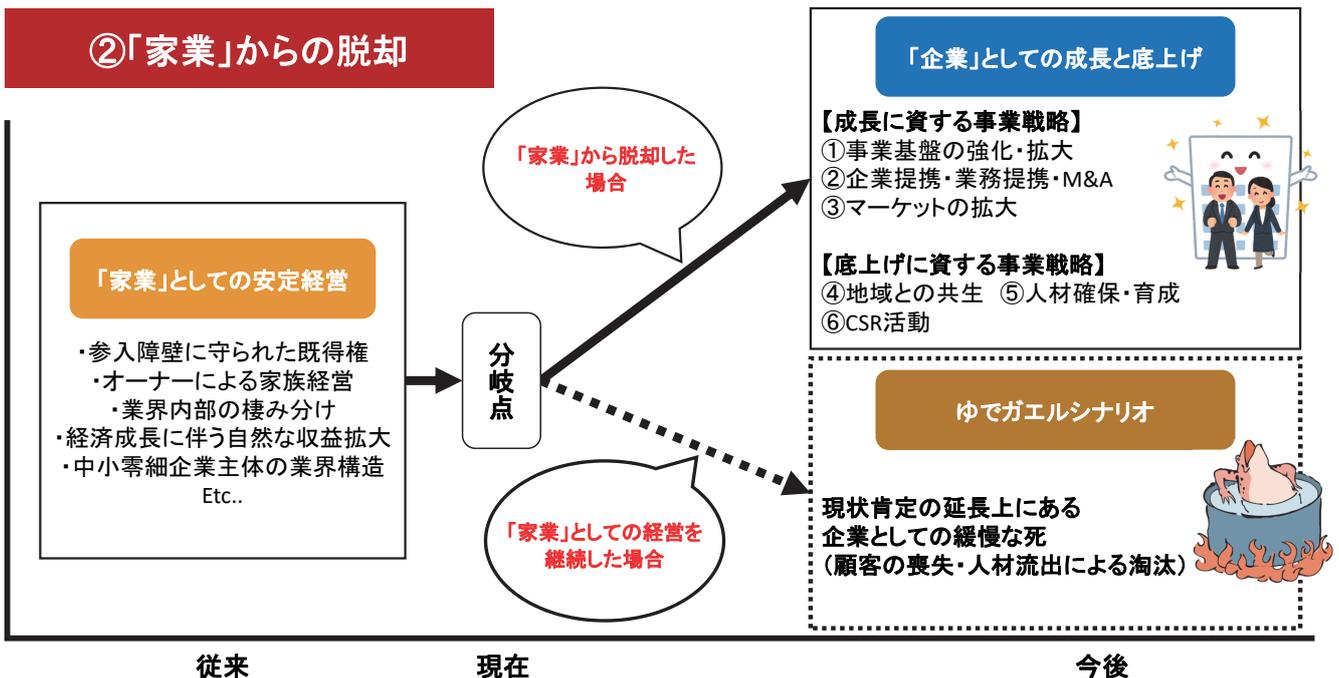
## 2. 産業廃棄物処理業の課題解決に向けた事業戦略

### ①直面する課題・リスク



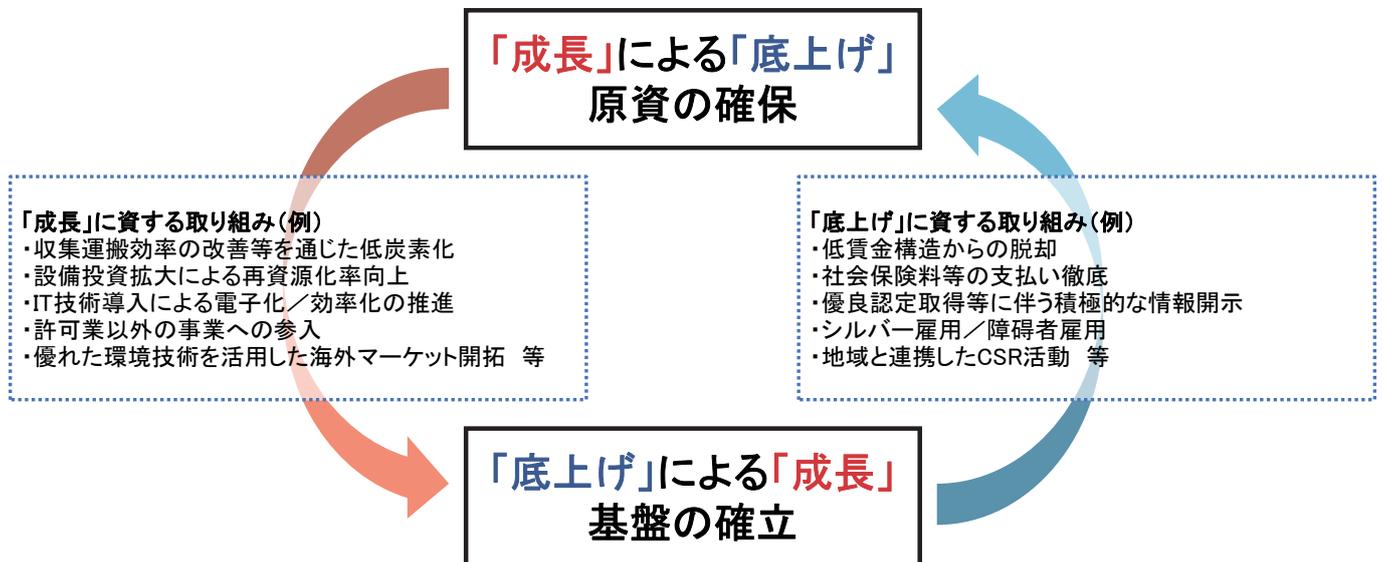
## 2. 産業廃棄物処理業の課題解決に向けた事業戦略

### ②「家業」からの脱却



## 2. 産業廃棄物処理業の課題解決に向けた事業戦略

### ③事業戦略の方向性



## 2. まとめ

### ①市場を理解する

自分たちが働く産業廃棄物処理業界の規模・市場の流れを理解し、その中で自らの立ち位置を把握する

### ②「成長」と「底上げ」を両立させる

従業員ひとりひとりの資質を磨くとともに、社会の一員として廃棄物処理業の価値を高める

**会社が“どうあるべきか”  
ひとりひとりが思い浮かべることが大切です**

## 2. 研修例

### 株式会社東日本Bブロック 将来のあるべき姿

#### 社内研修

完

## 3. おわりに

従業員の不安を取り除くことが企業の底上げの第一歩です。

廃棄物処理業界の現状と将来性を企業全体で把握し、  
自分たちの「あるべき姿」と、その実現のための方向性を  
経営者と従業員で共有しましょう。

**みんなで廃棄物処理業の価値を  
高めましょう！！**



# 東日本Bブロック ワークショップ名簿

期	会社名	氏名	期	会社名	氏名	期	会社名	氏名
9	株式会社タカヤマ	村武 宏紀	7	株式会社クマクラ	熊倉 毅	11	木村産業株式会社	高澤 孝司
10	リバーホールディングス株式会社	今井 佳昭	7	新潟ガービッチ株式会社	関 祐介	11	株式会社環境整備	千葉 明寿
6	株式会社アクトリー	長友 和典	7	株式会社フロンティア・スピリット	平林 正幸	11	株式会社光洲産業	塚原 康裕
1	株式会社日本廃棄物管理機構	木川 仁	8	青木環境事業株式会社	青木 俊和	11	株式会社大橋商会	利根川 豪博
1	アラックス株式会社	山本 泰雄	8	株式会社太陽油化	石田 太平	11	株式会社都市環境エンジニアリング	新川 研
1	株式会社アース・グリーン・マネジメント	平栗 秀信	8	JFE環境株式会社	板橋 千明	11	エコシステムジャパン株式会社	諸星 泰宏
1	直富商事株式会社	木下 賀隆	8	メタルリサイクル株式会社	猪鼻 秀希	12	ウエノテックス株式会社	上野 光陽
1	株式会社ハチオウ	森 雅裕	8	株式会社アース・コーポレーション	柴田 孝吉	12	株式会社大橋商会	大滝 健次
1	大平興産株式会社	山上 昌孝	8	株式会社鈴木徳	鈴木 隆幸	12	エコシステムジャパン株式会社	岡野 吉宏
1	高俊興業株式会社	高橋 潤	8	バイオエナジー株式会社	瀬川 順也	12	木村工業株式会社	神田 悠貴
1	株式会社T&T	棚山 文一	8	三協興産株式会社	田村 豪士	12	JFE環境株式会社	後藤 俊彰
1	株式会社信州ウエイスト	小林 源吾	8	DOWAエコシステム株式会社	飛田 実	12	直富商事株式会社	須藤 稔
2	開発化学工業株式会社	松菱 則嗣	9	青木環境事業株式会社	青木 暁	12	株式会社リョーシン	高野 優
2	加藤商事株式会社	濱松 直親	9	オリックス環境株式会社	伊藤 慎一郎	12	株式会社タズミ	田墨 道治
2	株式会社都市環境エンジニアリング	及川 拓史	9	株式会社富山環境整備	清水 栄一	12	たち建設株式会社	館 直人
2	アラックス株式会社	江藤 裕二	9	株式会社環境整備	野口 剛	12	株式会社アース・コーポレーション	能登 泰之
2	株式会社丸正土木	桐生 竜治	10	株式会社大橋商会	大橋 崇	12	株式会社タケエイ	林 隆行
4	JFE環境株式会社	柏倉 正悦	10	株式会社リョーシン	高野 晃	12	青木環境事業株式会社	三原 敏則
5	太陽建設株式会社	坂本 剛	10	株式会社完山金属	完山 一範	13	株式会社アース	青池 博樹
5	オリックス環境株式会社	三栖 隆司	10	JX金属株式会社	沢田 誠	13	株式会社大橋商会	江端 秀夫
6	株式会社ワールドスイコー	郷 保治	10	株式会社市川環境エンジニアリング	篠田 達弘	13	株式会社セオス	遠藤 恭三
6	株式会社エスアール	渋谷 清心	10	株式会社真田ジャパン	五月女 竜次	13	有限会社峡南環境サービス	河澄 秋芳
6	比留間運送株式会社	比留間 宏明	10	エコシステムジャパン株式会社	米沢 孝司	13	いずみ産業株式会社	熊本 宗行
6	新和環境株式会社	梁川 哲	11	野村興産株式会社	岩瀬 博樹	13	株式会社光洲産業	小尾 正則
7	株式会社オガワエコノス	横山 友和	11	オリックス環境株式会社	神藤 知道	13	新潟メスキュード株式会社	下関 慎哉
7	株式会社富山環境整備	磯野 剛	11	株式会社ウッドアール・オークワ	木下 哲也	13	向洋産業株式会社	芳賀 智明
7	株式会社旭商会	市川 公豪	11	直富商事株式会社	鈴木 陽	13	株式会社太陽油化	村松 秀朗